



# 神戸薬科大学 図書館ニュース

No.32 2004. 10



## Part 1 (新着資料から)

### BOOK 『Encyclopedia of Bioethics, 3<sup>rd</sup> ed.』

(Macmillan Reference 2004 全5巻)

本事典は、1978年に初版として出版されたとき、たちまちにして生命倫理学の最も基本的な文献としての評価を確立しました。その後1995年に大幅な増補改訂が行われ、今回は3回目の改訂となります。事典編纂の方針として大項目主義を採用し、それぞれの専門家が、多角的な視点から問題を論ずるという形を取っています。ですからそれぞれの項目がそれだけで充実した論文という感じがします。収録されている項目の範囲もきわめて広く、多方面にわたり、生命倫理学はもちろんヘルスケア全般に関する問題や研究倫理や臨床研究に関する問題等の項目を網羅しています。

題として狭く捉えられがちですが、第1版、第2版の事典編集主幹であったWarren T. Reichが言うように、生命倫理学が取り扱う範囲は、医療専門職と患者との関係や終末期の問題から公共政策としてのヘルスケアのあり方や生物医学的な実験の被験者の問題や臨床試験のあり方、さらには人口問題や環境問題までと現代社会のほぼあらゆる倫理的問題に広がっています。叙述内容も平明で、参考文献指示も充実しています。生命倫理学の現状と本当の姿を知るためにも大いに活用していただきたいと思います。

松家 次朗 記

生命倫理学といえ日本ではいまだに医療倫理学関係の問

### ビデオ 『プレゼンの技術』

(プレジデント社 2003 全2巻)

本ビデオ講座はプレゼンテーションをテーマに、映像ならではのメリットを生かして「プレゼンテーションの技術」をわかりやすく解説している。即ち、失敗したプレゼンテーションの共通する問題点と課題を取り上げて「どこがいけなかったか」という視点で登場人物と一緒に答えを導いていけるように構成されている。1巻の基礎編(45分)では、あらゆるプレゼンテーションの基礎となる基本的な技術を個別に切り分けて説明しており、「プレゼンテーションとは」「基本テクニック」(目配り、話し方、気配り)の構成になっている。2巻の実践編(45分)では、基礎編で学んだ基本的な

技術を基に、実際のプレゼンテーションの流れに沿って、より具体的かつ実践的な技術を学んでいけるようになっており、「プレゼンテーションの事前準備」「プレゼンテーションの構成」から成り立っている。ただし内容は会社でのプレゼンテーションである。就職活動中で、面接試験を目前にして、どうすれば「相手に伝わるプレゼンテーション」ができるか、「あがらないためには」どうしたらよいか悩んでいる学生はこのテキスト付きのビデオを一度見てみると良いと思う。

岩佐 衣子 記

## もくじ CONTENTS

ブックガイド(新着資料から)松家次朗・岩佐衣子.....1	受入図書から.....4~5
ブックガイドpart2(専門分野別)尾上みさ子.....2	グラフと表で見る図書館統計.....6~7
Japan Knowledgeの機能について.....3	薬剤師のためのDI資料(15)長嶺幸子.....8
日本私立学校振興・共済事業団の補助金について.....3	お知らせ.....8



part 2 (専門分野別)  
BOOK GUIDE

“代替医療の本 ホメオパシーとその周辺”

Homeopathic Pharmacy 花薬房

大25回 尾上 みさ子

(英国ホメオパシー医学協会認定ホメオパス)

ホメオパシーとは、今から200年前にドイツの医師ハーネマンがその生涯をかけて確立させた療法で、「同種療法」あるいは「類似療法」と訳されているように、「症状を起こすものは、その症状を取り去るものになる」という「同種の法則」を根本原則とした自然療法です。

日常治療に使用しているレメディー（ホメオパシー治療薬）はH社のものですが、その社長は薬剤師です。ホメオパシーは、他の薬物と作用機序や作用部位が異なります。そのため妊婦や新生児、臨終の場面の緩和にも使用可能です。以下は、下記アンダーライン（図書の中の紹介コーナー）を含め母校の皆様方にぜひ知っておいていただきたいホメオパシー情報の一端です。現代薬、生薬について私達は大学で学ぶことができます。しかし代替医療に関しては、ともすると患者さんやその家族のほうが専門的にご存知です。海外からの情報で処方頼まれたりすることもありますので「知らない！」では済まされない世界になりつつあります。

『バイブレーション・メディスン』（リチャード・ガーバー著 上野圭一監訳、日本教文社）ホメオパシーの概略を伝える時に随分苦しんだ時期がありました。英国では、王立ホメオパシー病院が存在し、街中の薬局にはホメオパシーの売薬が棚に並んでいました。なのに、私はそのホメオパシーの作用機序も薬効も医療従事者に説明する手段がなかったのですが、その問題はこの本が解決してくれました。

『エネルギー医学の原理 その科学的根拠』（ジェームズ・L・オシュマン著、エンタプライズ）この本はエネルギー医学に携わるものにとってもうれしい1冊です。電磁気、振動共鳴療法について絵や図、表などを駆使して解説してあるので見えない世界を検索する第一歩にさせていただきたいです。

『医療従事者のためのホメオパシー』（Bob. Leckridge

著、エンタプライズ）まず、最初の一步は誰にでもあります。この必要最低限のマテリア・メディカで診療指針を立てた後は日々研鑽している専門家とご相談ください。

『ハイドロゾル 次世代のアロマセラピー』（スーザン・カティ著、フレグランスジャーナル社）ハイドロゾルは芳香蒸留水のことでそれはホメオパス（ホメオパシー治療家）の立場から処方することができます。

『癒しのホメオパシー』（渡辺順二著、地湧社）翻訳本の多い中ご自身の感性と経験から書かれた1冊です。P.327参考文献から彼の人生観がうかがい知れます。得てして簡略化して現代医療にホメオパシーを使用してしまう医師の多い中、きちんとしたコンサルテーションのできる医師ホメオパスとしての将来が楽しみな人です。

『ホメオパシー大百科事典』（アンドリュー・ロッキー著、産調出版）初めての方に説明する時に役立つ写真入で美しい本です。

『ホメオパシーセルフケアBOOK』（中村裕恵監修、新星出版社）P.160に「専門書で独学」ホメオパシーを学ぼう、で翻訳本の紹介がしてあります。

『ホメオパシー ガンではなくガン患者を癒す新しい医学』（中村裕恵著、メタモル出版）心優しい中村先生ならではの1冊です。簡素な表現で実例をあげてあります。現実、もっと煩雑で長期にわたる患者と家族とホメオパスとの葛藤が存在します。医療として厚生労働省の認可がないために起こる葛藤もそのひとつです。（実際には自由診療もしくは、臨床心理的カウンセリングとして展開されています。）

『ホメオパシー in Japan』（由井寅子著、ホメオパシー出版）翻訳本以外で使えるホメオパシーの実践本です。この本で健康管理されている患者さんもいらっしゃいます。

図書館ニュース No.31（2004年4月発行）で紹介していますように、今年度は「代替医療」の本をテーマ展示しています。今回は、代替医療のひとつである「ホメオパシー」に関する図書の紹介を現在、ホメオパシー治療家として活躍されている本学卒業生の尾上みさ子さんにお願しました。

## Japan Knowledgeの機能について

今年から導入しているJapan Knowledgeは、日本の出版、広報物を対象にした検索エンジンで、日本最大・最強の知識支援サービスを提供するというたい文句が示すように出版・新聞各社から20以上のコンテンツ、総収録項目約2万冊、120万件の中から検索することができます。

例えば、「日本大百科全書」「東洋文庫(平凡社)」「ミュージックライブラリ」などのコンテンツが有ります。

簡単なキーワードから条件に合致した項目を調べるには、『ワンルック検索』を使います。画面に表示されたタブの「One look」をクリックして検索窓に検索語を入力して、検索領域や条件を選択して検索ボタンをクリックするだけです。

2つの検索語に共通の項目を知りたいなら、検索語を「スペース(空白)」で区切るのは図書館システムと同様です。

検索結果(ヒットしたコンテンツ)は項目名とコンテンツ

名で表示されます。更に、そのコンテンツ名をクリックすると本文と関連語が表示され深く掘り下げて行く事ができます。

逆に、調べたい項目の該当する分野がわかっている時には、A-searchの中の「日本大百科全書+URLセレクト」の『分野別検索』を使います。調べたい分野のコンテンツを指定して調べて行く事ができます。これには、検索結果について「関連サイト」の表示のあるものは、サイトのURL情報を持ってインターネットの情報へ検索を進めて行くことができる機能が付加されました。

また、検索結果が得られた場合にはその検索軌跡がわかるようになっています。

手広く解らない事を調べるには便利なツール、として皆さんの活用を待っています。図書館ホームページからご利用ください。



## 日本私立学校振興・共済事業団の補助金について

神戸薬科大学図書館は、教育・研究のための経費について大学予算と日本私立学校振興・共済事業団の補助金によって運営されています。

大学は在学生の教育・学習方法の改善に利用する費用が単年度で100万円以上かかる課題について「計画書」として補助金を申請し、審査の結果、「採択」されると補助金が受領できます。

平成16年度は「教育・学習方法等改善支援経費」として「図書館システム」と「自主学習環境の整備」、「教育研究情報

利用経費」として「SciFinder Scholar」を申請中です。

補助金配分は経費の使用実績に基づいて(実績額によって)経費申請額の1/2以内となります。

また、年度の終了に当たっては、実際に図書館が利用されたという「実績報告書」の提出が義務づけられています。このためにも、神戸薬科大学図書館の利用者は有効に無駄遣いをしないように図書館を利用していただきたいと思います。

図書館は更に多くの「利用実績」が上がる事を祈って、皆さんへのサービスに努めています。

書名	著者名	出版社
科学者・技術者のための英語論文の書き方	R.Lewis他	東京化学同人
数字に弱いあなたの驚くほど危険な生活	ゲルト・ギーゲレンツァー	早川書房
化学安全ハンドブック	R.J.Alaimo編	丸善
もっと化学を楽しむ5分間	日本化学会近畿支部編	化学同人
演習を中心とした薬学生の分析化学 第3版	嶋田健次編	広川書店
日本の自然災害 改訂	力武常次他監修	国会資料編纂会
地球温暖化	伊藤公紀	日本評論社
Basic生物・化学英和用語辞典	山本格編	化学同人
知っておきたい分子生物学	野田亮	岩波書店
Nature encyclopedia of the human genome Vol. 1～5	editor in chief, David N. Cooper	Nature
あなたの患者になりたい	佐伯晴子	医学書院
遺伝子工学時代における生命倫理と法	龍谷大学「遺伝子工学と生命倫理と法」研究会編	日本評論社
絵で読む江戸の病と養生	酒井シヅ	講談社
統合医療の扉	小松奈美子	北樹出版
誰も書かなかった日本医師会	水野肇	草思社
医療マーケティング	真野俊樹	日本評論社
図解PubMedの使い方 第2版	阿部信一他	日本医学図書館協会
タンパク質実験ハンドブック	竹縄忠臣編	羊土社
臨床薬物代謝化学	堀江透他編	廣川書店
免疫革命	安保徹	講談社インターナショナル
ダイナミックメディスン 1～7	辻省次他編	西村書店
薬物療法学	石崎高志他編	南江堂
設問式薬剤師に必要な患者ケアの知識	木村健編著	じほう
医療従事者のための補完・代替医療	今西二郎編	金芳堂
Q&Aでよくわかる!がん性疼痛ケア	梅田恵他監修	照林社
EBM正しい治療がわかる本	福井次矢	法研
ある日化学物質過敏症	山内稚恵	三省堂
やさしい生活習慣病の自己管理	北村諭	医薬ジャーナル社
救急精神病棟	野村進	講談社
"うつ"もまた楽し 新装版	斎藤茂太	大和書房
がん生還者たち	柳原和子	中央公論新社
患者追放	向井承子	筑摩書房
医者よ、信念はいらぬ命を救え!	中村哲	羊土社
健康帝国ナチス	ロバート・N・プロクター	草思社
私は薬に殺される	福田実	幻冬舎
大学病院に、メス!	鈴木敦秋	講談社
患者満足度	前田泉他	日本評論社
優生保護法が犯した罪	優生手術に対する謝罪を求める会編	現代書館
やさしい環境科学 新版	保田仁資	化学同人
食環境問題Q&A	加藤不二男他編著	ミネルヴァ書房
エキスパートのためのビタミン・サプリメント	橋詰直孝編著	医歯薬出版
人はなぜ病院で感染するのか?	太田美智男	日本放送出版協会
医薬バイオテクノロジー事典	医薬バイオテクノロジー事典編集委員会編	廣川書店
新薬創製への招待	安生紗枝子他	共立出版
スキルアップのためのおくすり相談Q&A100	静岡県薬剤師会編	南山堂
注射薬服薬指導マニュアル	田中良子他編	じほう
だれでもできるTDMの実践	篠崎公一監修	テクノミック
ゲノム創薬	田沼靖一編	化学同人
微生物薬品化学 改訂第4版	田中晴雄他編	南江堂
作ってみよう薬局製剤	日本薬剤師会編	薬事日報社

(化学、医学、薬学分野より一部抜粋)

## 『21世紀の薬剤師：エビデンスに基づく薬学（EBP）入門』

医療分野においてもインターネットなどのITの進展により急速に診断・治療に関する情報が増大しています。本書は、臨床で生じた薬物療法に関連する問題についてMEDLINEなどを利用して検索し、その情報を評価、選択、分析して行く過程を的確に進めるためのガイドブックです。医療現場で薬剤師が薬科学的視点から問題発見能力、問題解決能力を磨くためのヒントがつまっています。（ 〇 ）

Phil Wiffen著 じほう



## 『ウェルカム・ホーム！』

読み終えた時、ほのぼのとした優しさに包まれました。現代では、家庭のスタイルもシングルマザー、父子家庭など様々が当たり前。この本の主人公も、血のつながりはないけれど、立派な“父と息子”です。お互いの心がしっかりと結ばれ、気持ちがいっしょに合えば、そこには素敵な家族が生まれるのですね。この本は、とっても温かいメッセージを贈ってくれました。（W.H）

鷲沢萌著 新潮社



## 『能楽への招待』

初めて能楽堂へ能を見に行った時、そこに漂う厳粛な空気に少し緊張したものです。その時には、曲の内容よりもむしろ女面の美しさに引き込まれてしまいました。能の全てを理解する事は大変です。このように興味を持ったものから少しずつ理解するのはどうでしょうか。そのテーマを探すのに、この本は大変参考になると思います。「能楽の歴史」、「能舞台」、「装束」など興味は尽きません。（康）

梅若楯彦著 岩波書店



## 『ドナの結婚 自閉症だったわたしへ』

最近よく目にするようになった「自閉症」という文字にとっても心惹かれて手にした1冊です。「自閉症」のドナがよきパートナーに出会い恋に仕事に奮闘する様子がとてもマイペースに描かれています。あわただしい世の中にしっかりと地に足をつけて生きている姿はとっても素晴らしいです。乙武洋匡さんの言葉ではないけれど「障害は個性である」ということをとても痛感できました。（YF）

ドナ・ウィリアムズ著 新潮社



## 『口伝解禁 近松門左衛門の真実』

数奇な運命を辿った上方の劇作家、近松門左衛門の実像を知る本である。彼の一生に関して、長らく「口外無用」とされてきた家訓の真実が、今回9代目当主により公開された。彼は日本最初のスペイン語学者であり、その名前もM' unza e m 'un「（我が愛する人が）私を輒につないで、私を結びつけてくれたらよいが」に由来するという。彼の豊かな才能と知識の背後にはスペイン文化があったのは驚きだ。あるスペイン人からは彼に「日本のセルバンテス」という称号が贈られている。（田研）

近松洋男著 中央公論新社



## 『遺伝子が明かす脳と心のからくり』東京大学超人気講義録

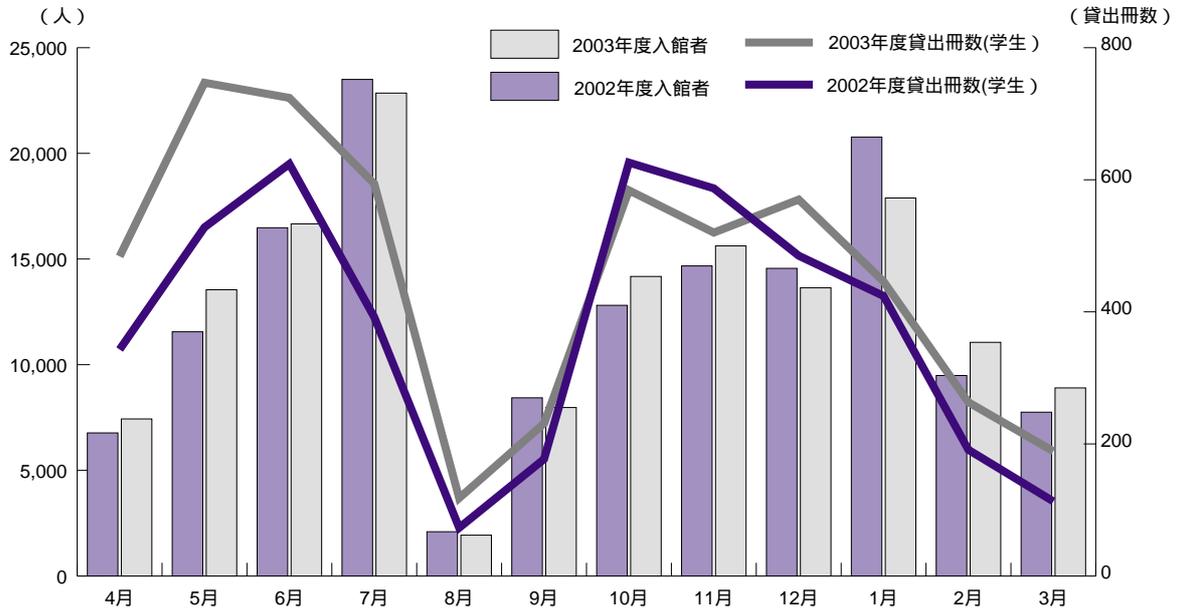
東大1,2年生の選択講義録です。不安解消、やる気を起こす、知能を高めるなど昔は科学的に議論されなかった分野に着目し、分子生物学的に解明されてきた過程を非常に平易に、面白く解説されています。その裏で著者が本当に言いたかったのは環境、食、薬剤などから自分の身を守るために、巷に溢れる膨大な情報を正しく判断できる能力を身につける事。ポーっとしてはアカンと言う事の様です。（usagi）

石浦章一著 羊土社



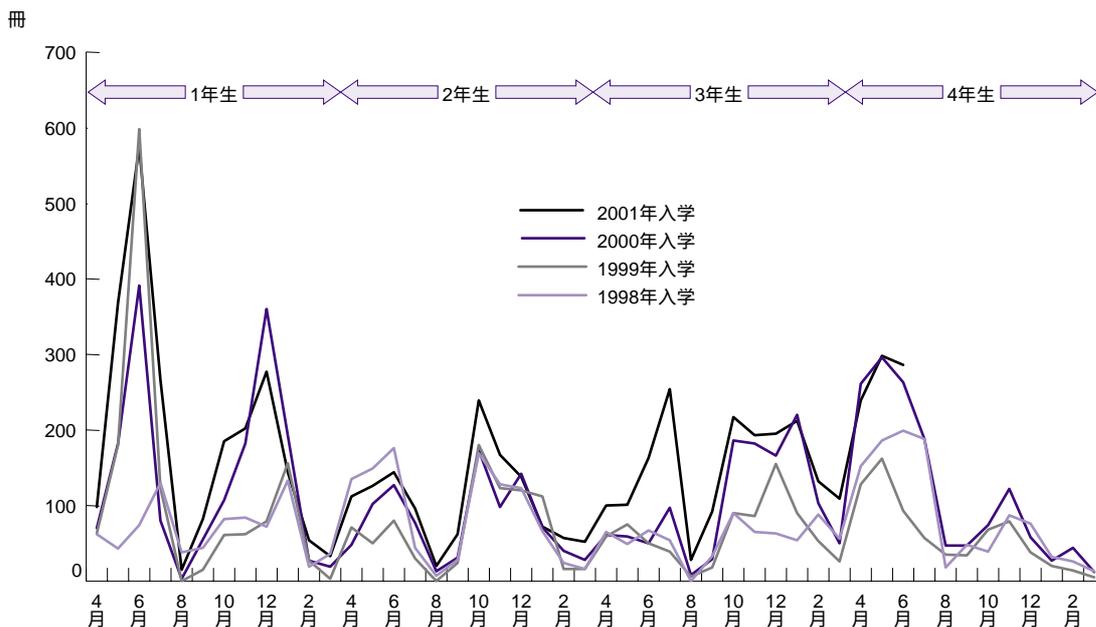
## グラフと表で見る 図書館統計

### 1 月別入館者(延べ)と学部学生貸出冊数

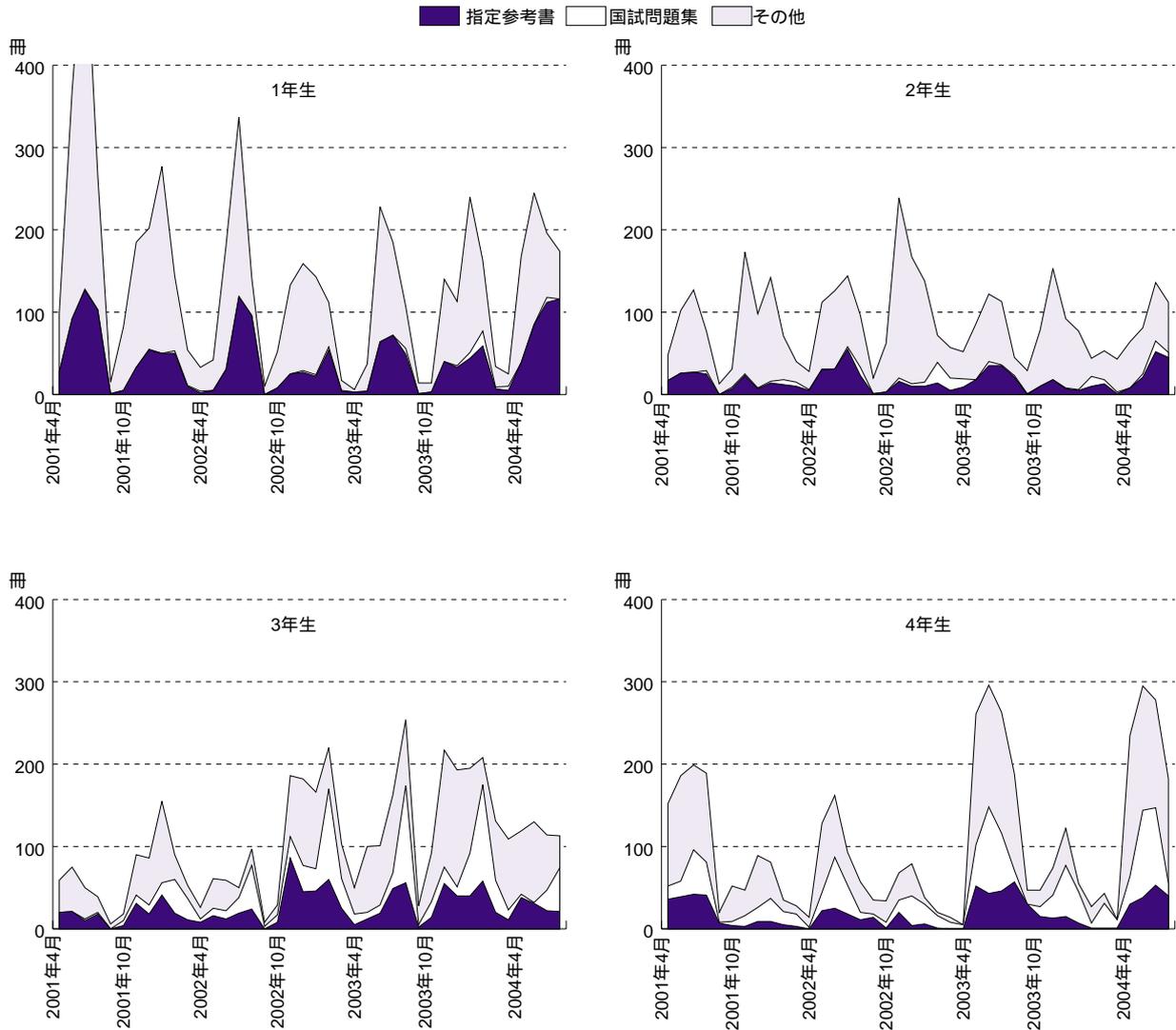


入館者など	2002年度	2003年度	貸出	2002年度	2003年度
開館総日数	263日	264日	貸出総冊数(全体)	7,824冊	8,361冊
入館者総数	148,888人	151,679人	貸出総冊数(学部学生)	4,563冊	5,470冊
月平均入館者数	12,407人	12,640人	1日平均貸出冊数(全体)	30冊	32冊
1日平均入館者数	566人	575人	1日平均貸出冊数(学部学生)	17冊	21冊

### 2 入学年度別貸出冊数推移



## 3 学年別貸出統計



### 月別入館者(延べ)と学部学生貸出冊数

一昨年に比較して図書館利用が増加しました。

### 入学年度別貸出冊数推移

利用が多かった入学年度順に2001年度 2000年度 1998年度 1999年度です。

留年・休学生は2学年以上のデータに反映していません。(留年、休学等で入学年度との関連が取れなくなる為です。)

入学年度に関係なく1年次生、4年次生の貸出が多く、2年次生、3年次生の貸出が少なくなっています。

### 学年別貸出統計

学年によって、利用する図書の種類に変化が見られます。

1、2年次生は一般書と指定参考書の利用が多く、3、4年次生では国家試験問題集の利用が増加してきます。

以上は「図書館システム」に蓄積されたデータを利用して、「自主学習環境の整備」の利用状況の一断面をまとめてみました。

## 薬剤師のためのDI資料 15

## 『症例から学ぶ生化学』

M.L.HALPERIN・F.S.ROLLESTON 著  
玉井洋一・矢島義忠 訳  
東京化学同人，1995

本書は、医学・保健科学を学ぶ学生達の生化学の教科書として書かれたものであるが、非常にユニークな本である。59の人の臨床例と8つの動物の症例を通じて体内における物質代謝と酸塩基平衡を統合的に理解させ、その上にとって病態を考えさせるという、Problem-Based Approach（問題提示 解決方式）の方式をとっている。与えられた症例を、生化学の知識や症状と検査結果などから検討してゆく過程で、楽しく生化学を学ぶことができるようになっている。

内容は、代謝全体を統合的に理解できるようになっており、“インスリンの諸臓器におけるエネルギー代謝の項”では、「食物の過剰摂取で体重が減少した」症例について問題点があげられ、エネルギー代謝の基礎事項が解説されている。それらの知識を統合して症例を解きほぐしてゆくことによって、さらに理解を深め、臨床を実践する際に状況に対して適切に対処できる力がつくように構成されている。

長嶺 幸子 記

## お知らせ

自習室利用時のマナー違反が目立ってきています。

以下は特に注意して下さい。

1) 飲食は禁止です。

『飲食不可』を基本事項として厳守して下さい。

資料やカーペットタイルにガムの汚れや飲食物の染みを付けないでください。

2) 席取りは禁止です。

席取りは後から来館した人の迷惑や、紛失物等のトラブルの原因になるので止めましょう。荷物保管は図書館出入り口ロッカーを利用してください。

(ロッカーの鍵はLIBRARY CARDを使ってカウンターで貸出します。)

3) ごみは可燃物(紙ごみ)のみ図書館のごみ箱へ廃棄できます。

『ごみの分別』は総務課・学生課からも指導が有るとおります。

図書館のごみ箱は可燃物(紙ごみ)専用なので、ペットボトル等の不燃物を混ぜないこと。

4) 雑談は止めましょう。

携帯電話も含めて静粛な利用を心がけてください。

今年度のマルチメディア整備として4階閲覧室と視聴覚室にDVDプレーヤーを設置しました。メディアの整備も進めて行きますので、ご利用をお待ちしています。

8月の休暇中に4階書庫のタイル改装を行いました。

北側に多数剥がれていた焦げ茶色のタイルを、全面明るい煉瓦色のタイルに変えました。

書庫内の印象も明るくなり利用しやすくなりました。

去る、平成16年6月25日に私立大学図書館協会・阪神地区相互利用担当者連絡会が本学図書館を当番校として開催されました。

大阪府、兵庫県、和歌山県内の59大学・短期大学が参加しました。